近世道状遺構の集成（５）

近世研究プロジェクトチーム

はじめに

本プロジェクトチームでは、2015年度より近世道状遺構の集成を行っている。

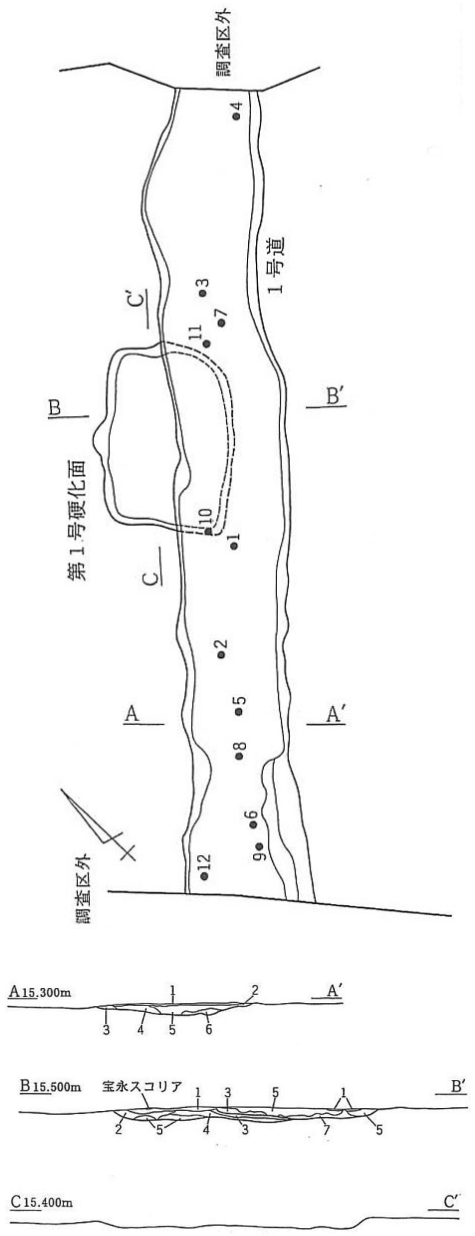
県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は、横須賀市長岡西遺跡、藤沢市用田鳥居前遺跡、葛原下滝谷戸遺跡、茅ヶ崎市芹沢配水池関連遺跡群大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡、逗子市池子遺跡群、厚木市中依知遺跡群、海老名市杉久保蓮谷遺跡、社家宇治山遺跡、河原口坊中遺跡、寒川町宮山中里遺跡を取り上げる。

凡　例

・遺構名は報告書の記載に基づく。
・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。
・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。

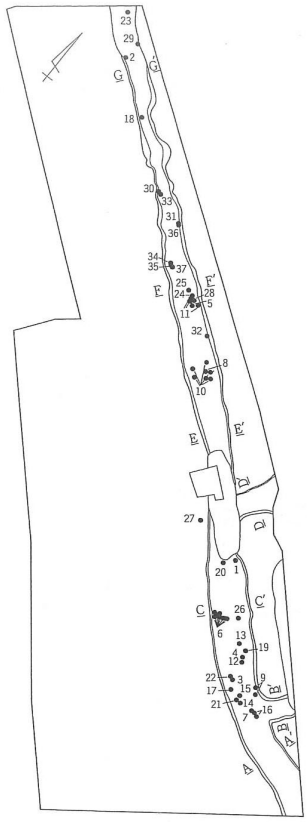
資料№	遺跡名	遺構名	文献名
73	長岡西遺跡	第１号道	2002年　『長岡西遺跡』　かながわ考古学財団調査報告126
74	長岡西遺跡	第２号道	2002年　『長岡西遺跡』　かながわ考古学財団調査報告126
75	長岡西遺跡	第1号道路状遺構	2002年　『長岡西遺跡』　かながわ考古学財団調査報告126
76	用田鳥居前遺跡	Ｋ１号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
77	用田鳥居前遺跡	Ｋ２号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
78	用田鳥居前遺跡	Ｋ３号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
79	用田鳥居前遺跡	Ｋ４号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
80	用田鳥居前遺跡	Ｋ５号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
81	用田鳥居前遺跡	Ｋ６号道状遺構	2002年　『用田鳥居前遺跡』　かながわ考古学財団調査報告128
82	葛原下滝谷戸遺跡	Ｋ１号道状遺構	2003年　『葛原滝谷遺跡　葛原下滝谷戸遺跡』　かながわ考古学財団調査報告151
83	大島仲ノ谷遺跡	Ｋ１号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
84	大島仲ノ谷遺跡	Ｋ２号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
85	諏訪谷西遺跡	Ｋ１号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
86	諏訪谷西遺跡	Ｋ２号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
87	椎ノ木坂遺跡	Ｋ１号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
88	椎ノ木坂遺跡	Ｋ２号道状遺構	1997年　『芹沢配水池関連遺跡群行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡』　かながわ考古学財団調査報告28
89	池子遺跡群№8地点	第１号道状遺構	1997年　『池子遺跡群Ⅴ　№8・9・10・13・14地点』　かながわ考古学財団調査報告27
90	池子遺跡群№5地点	Ｋ－３号道状遺構	1998年　『池子遺跡群Ⅵ　№5・19地点』　かながわ考古学財団調査報告36
91	池子遺跡群№5地点	Ｋ－５号道状遺構	1998年　『池子遺跡群Ⅵ　№5・19地点』　かながわ考古学財団調査報告36
92	池子遺跡群№5地点	Ｋ－７号道状遺構	1998年　『池子遺跡群Ⅵ　№5・19地点』　かながわ考古学財団調査報告36
93	池子遺跡群№3・4・5地点	第１号道状遺構	1998年　『池子遺跡群Ⅷ　№3・4・11地点』　かながわ考古学財団調査報告36
94	中依知遺跡群	Ｋ１号道状遺構	2014年　『中依知遺跡群（第２次調査）』　かながわ考古学財団調査報告297
95	杉久保蓮谷遺跡	Ｋ１号道状遺構	2001年　『杉久保蓮谷遺跡』　かながわ考古学財団調査報告110
96	杉久保蓮谷遺跡	Ｋ３号溝状遺構	2001年　『杉久保蓮谷遺跡』　かながわ考古学財団調査報告110
97	社家宇治山遺跡	Ｋ１号道状遺構	2011年　『社家宇治山遺跡　第１分冊』　かながわ考古学財団調査報告264
98	社家宇治山遺跡	Ｋ１号道状遺構	2011年　『社家宇治山遺跡　第２分冊』　かながわ考古学財団調査報告264
99	社家宇治山遺跡	Ｋ１号道状遺構	2011年　『社家宇治山遺跡　第３分冊』　かながわ考古学財団調査報告264
100	河原口坊中遺跡	Ｋ１号道状遺構	2014年　『河原口坊中遺跡第１次調査　第1分冊　P19地区・P20地区・MS地区（１）』　かながわ考古学財団調査報告304
101	河原口坊中遺跡	Ｋ１号道状遺構	2014年　『河原口坊中遺跡第１次調査　第2分冊　P21地区・P22地区・MS地区（２）』　かながわ考古学財団調査報告304
102	宮山中里遺跡	１号道状遺構	2016年　『宮山中里遺跡　Ⅲ』　かながわ考古学財団調査報告317

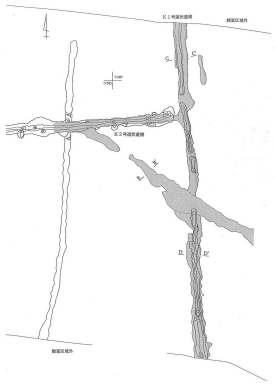
資料No.	73	遺跡名	長岡西遺跡
所在地	横須賀市		
遺構名	第１号道		
道　幅	2.0 ～ 2.5m		
年　代			
備　考	検出長16.34m。硬化面がほぼ全面で検出。北東側と南西側とも調査区外に延びており、そのレベル差は0.26m。		



縮　尺	（平面図） 1/150　（断面図） 1/100

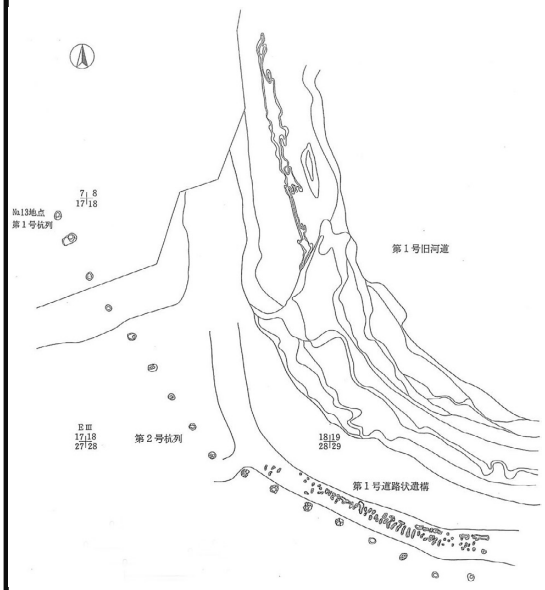
資料No.	74	遺跡名	長岡西遺跡
所在地	横須賀市		
遺　名	第２号道		
道　幅	0.4 ～ 1.4m		
年　代	17世紀（出土品の下限により）		
備　考	南東側と北西側は調査区外に延び、長さ56.1m。硬化面は南東側のみ約４～8cm確認。北西面と南東側のレベル差は0.27m。		





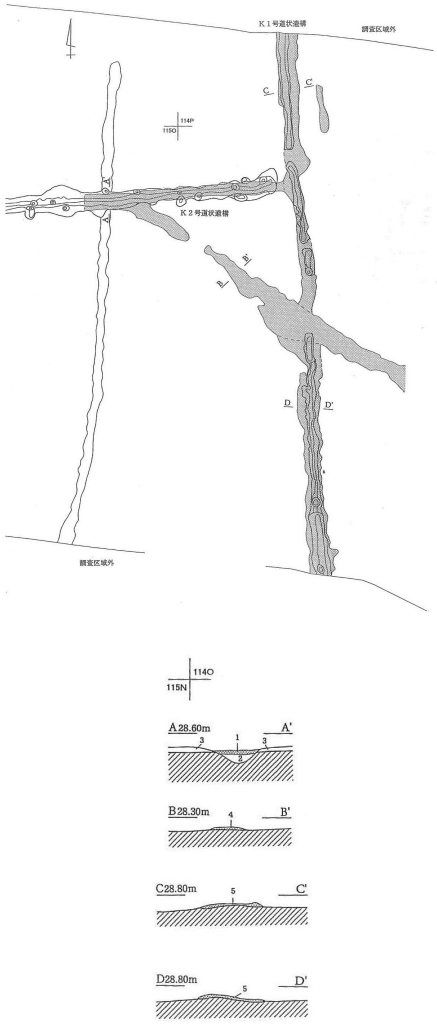
縮　尺	（平面図） 1/500　（断面図） 1/150

資料No.	75	遺跡名	長岡西遺跡
所在地	横須賀市		
遺構名	第 1 号道路状遺構		
道 幅	1.0 ～ 1.2m		
年 代	17 世紀中頃～ 18 世紀		
備 考	南東側に杭列、北東側に旧河通。検出長 20.75m。北から南東に向けて曲がる。		



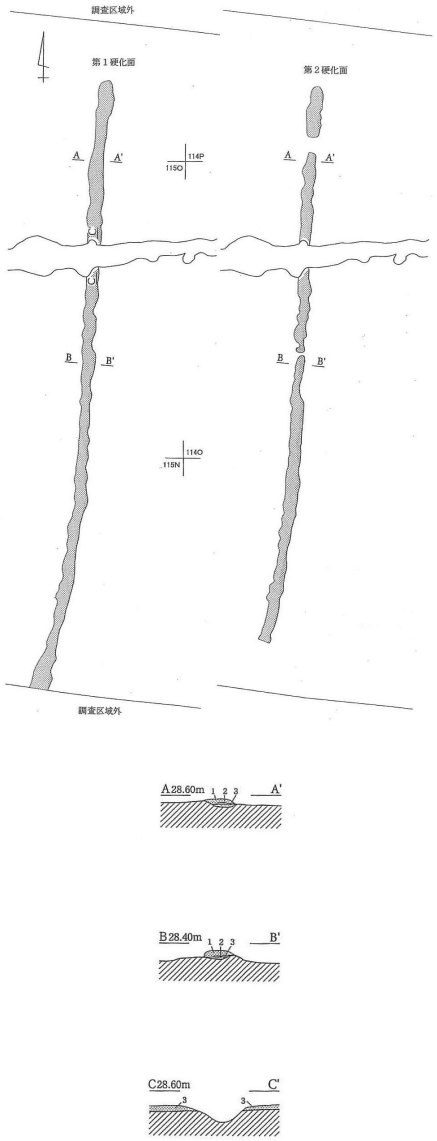
縮 尺	1/300

資料No.	76	遺跡名	用田鳥居前遺跡
所在地	藤沢市		
遺 名	K1・2 号道状遺構		
道 幅	(K1号) 0.4～1.0m (K2号a) 0.8m、(K2号b) 0.6～1.5m		
年 代	宝永火山灰降灰以降		
備 考	(K1 号) 検出長 23.4m、層厚 0.05m (K2 号 a) 検出長 8.7m 以上、層厚 0.05m (K2 号 b) 検出長 14.0m、層厚 0.05m		



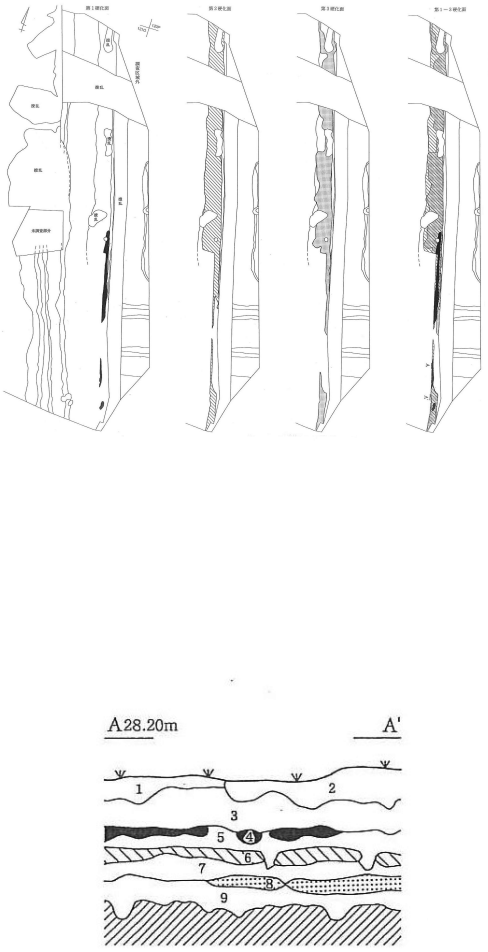
縮 尺	(平面図) 1/300 (断面図) 1/100

資料No.	77	遺跡名	用田鳥居前遺跡
所在地	藤沢市		
遺構名	K3 号道状遺構		
道 幅	0.2～0.4m		
年 代			
備 考	残存長約 19m、層厚 0.1m、北から南へ緩やかに傾斜している。硬化面は 2 枚みられる。		



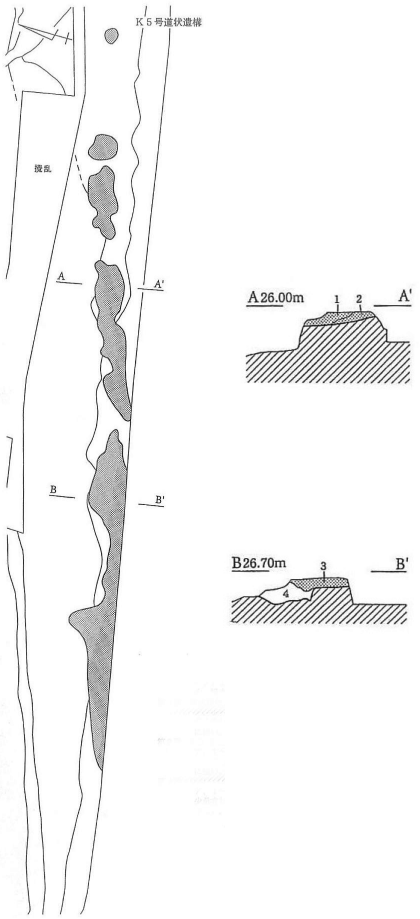
縮 尺	（平面図）1/250 （断面図） 1/100

資料No.	78	遺跡名	用田鳥居前遺跡
所在地	藤沢市		
遺 名	K4 号道状遺構		
道 幅	1.0m		
年 代	17 世紀～現代		
備 考	残存長 21m、層厚 0.1m、現道直下にある。硬化面は 3 枚みられ、2 枚目と 3 枚目の間には宝永火山灰がみられる。		



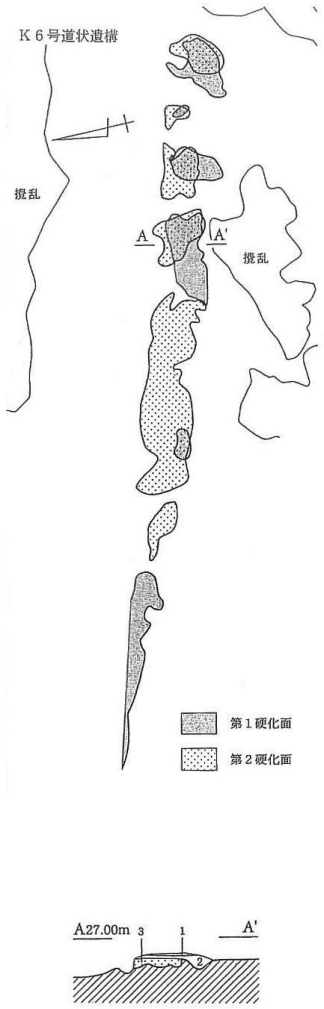
縮 尺	（平面図）1/400 （断面図） 1/50

資料No.	79	遺跡名	用田鳥居前遺跡
所在地	藤沢市		
遺構名	K5 号道状遺構		
道 幅	0.2 ～ 0.9m		
年 代			
備 考	残存長 15m、層厚 0.2 ～ 0.3m。硬化面は2 枚みられ、新旧関係が認められる。		



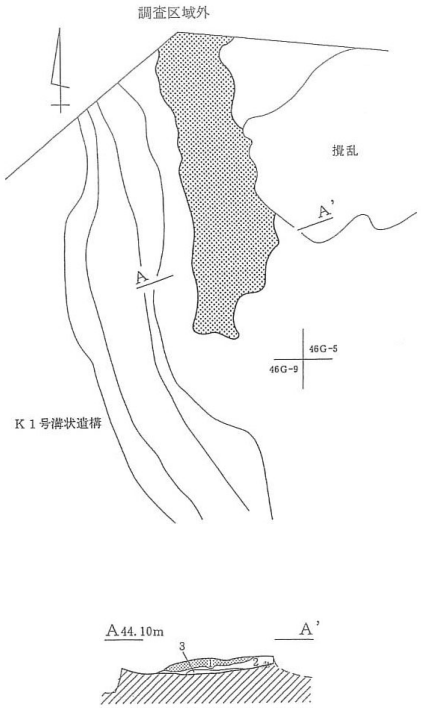
縮 尺	（平面図） 1/150 （断面図） 1/100

資料No.	80	遺跡名	用田鳥居前遺跡
所在地	藤沢市		
遺 名	K6 号道状遺構		
道 幅	0.4 ～ 0.9m		
年 代			
備 考	残存長 10.5m、層厚 0.05m。中世溝が埋没したのちに構築されている。		



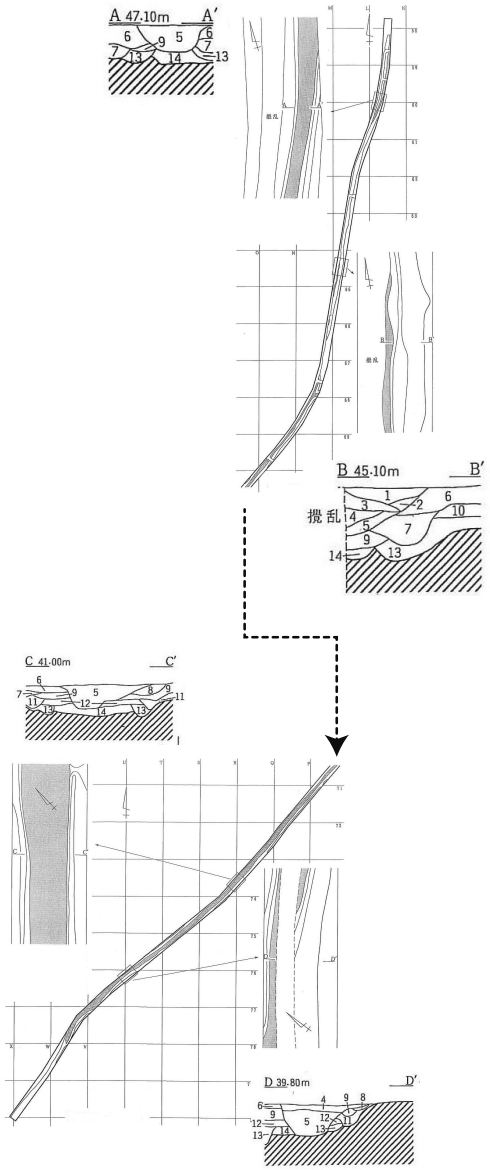
縮 尺	（平面図） 1/100 （断面図） 1/50

資料No.	81	遺跡名	葛原滝谷遺跡 葛原下滝谷戸遺跡
所在地	藤沢市		
遺構名	K1号道状遺構		
道 幅	0.5～1.1m		
年 代			
備 考	残存長 4.7m、層厚 0.05m。調査区北壁から延びているがかなり削平を受けており、途中で消滅している。		



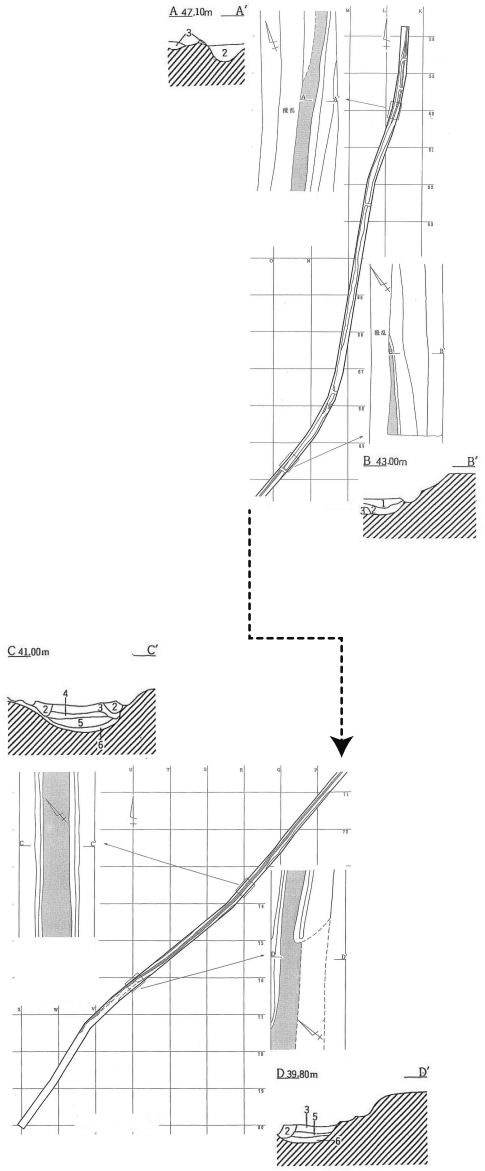
縮 尺	（平面図）1/100 （断面図） 1/100

資料No.	82	遺跡名	芹沢配水池関連遺跡群 大島仲ノ谷遺跡
所在地	茅ヶ崎市		
遺 名	K1 号道状遺構		
道 幅	0.6～1.0m		
年 代	17世紀～18世紀		
備 考	検出長 257.6m。硬化面は層厚 8 ～ 15 cm の間に３枚ある。両脇の側溝は幅0.4m程、深さ 20 ～ 40 cm。ほぼ現道直下に位置。		



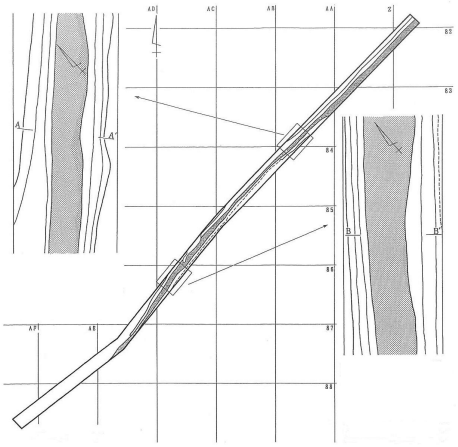
縮 尺	（平面図）1/2000 （断面図） 1/100

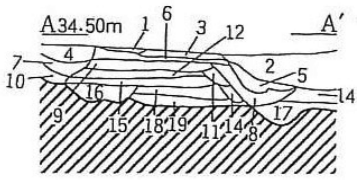
資料No.	83	遺跡名	芹沢配水池関連遺跡群 大島仲ノ谷遺跡
所在地	茅ヶ崎市		
遺構名	K2 号道状遺構		
道　幅	約233.5m		
年　代	～17世紀		
備　考	検出長257.6m、第1号道状遺構下位から検出。硬化面は層厚 10 ～ 14 ㎝の間に２枚ある。側溝は幅 0.3m程、深さ 20 ㎝程。切り通し状。		

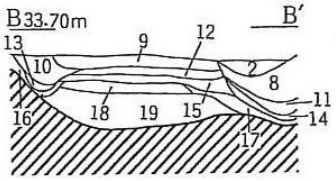


縮　尺	（平面図） 1/2000　（断面図） 1/100

資料No.	84	遺跡名	芹沢配水池関連遺跡群 諏訪谷西遺跡
所在地	茅ヶ崎市		
遺　名	K1 号道状遺構		
道　幅	0.7～1.0m		
年　代	17世紀前半～18世紀初頭		
備　考	検出長 70.6m。硬化面は層厚 25 ～ 45 ㎝の間に６枚ある。側溝は幅 0.5 ～ 0.6m、深さ 20 ～ 30 ㎝。		

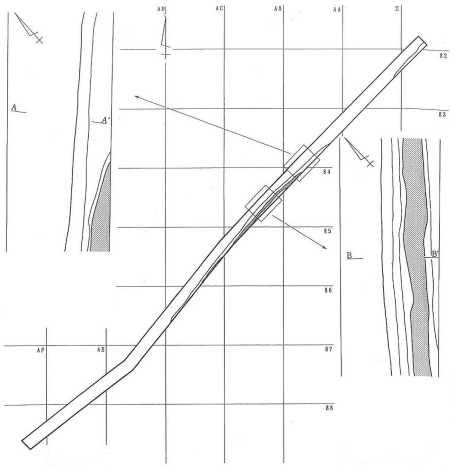


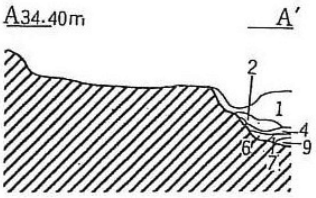


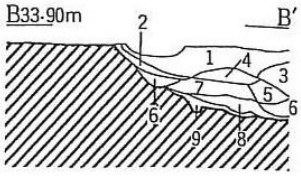


縮　尺	（平面図）1/1500　（断面図） 1/50

資料No.	85	遺跡名	芹沢配水池関連遺跡群 諏訪谷西遺跡
所在地	茅ヶ崎市		
遺構名	K2 号道状遺構		
道 幅	0.3～0.5m		
年 代	～17世紀前半		
備 考	検出長 40.5m、第 1 号道状遺構下位から検出。硬化面は層厚 7 ～ 10 ㎝の間に 2 枚ある。側溝は幅0.5～0.6m、深さ20㎝以下。切り通し状。		

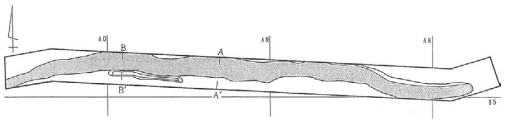


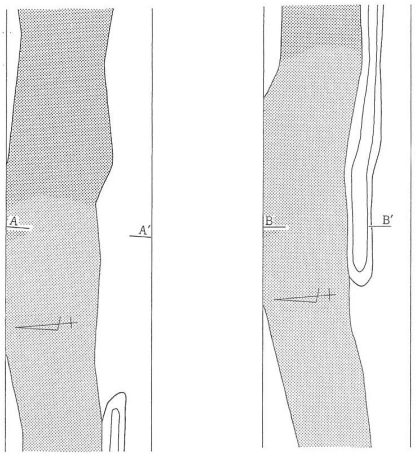




縮 尺	（平面図）1/1500 （断面図） 1/50

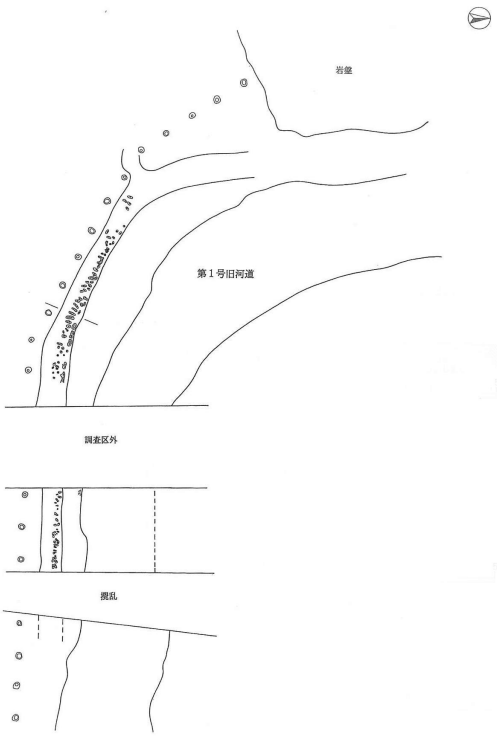
資料No.	86	遺跡名	芹沢配水池関連遺跡群 椎ノ木坂遺跡
所在地	茅ヶ崎市		
遺 名	K1 号道状遺構		
道 幅	0.6～1.5m		
年 代	～17世紀前半		
備 考	検出長 29.0m。硬化面は厚さ 7 ～ 25 ㎝の間に 2 枚ある。側溝は幅 0.28 ～ 0.3m、深さ 8 ㎝程、わだちの可能性あり。		

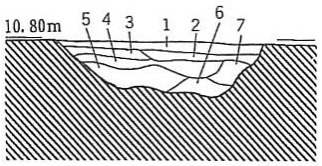




縮 尺	（平面図）1/400 （断面図） 1/100

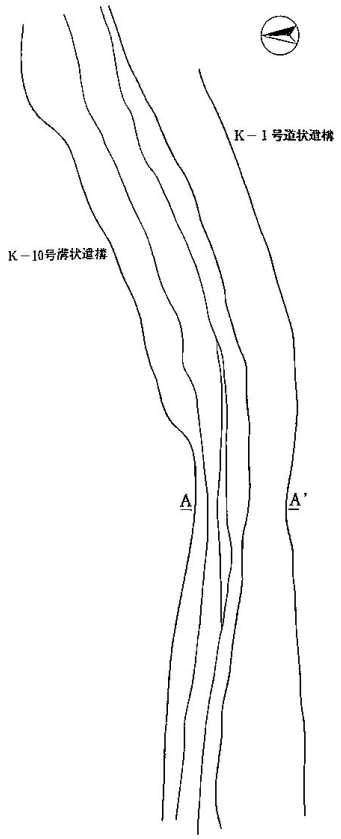
資料No.	87	遺跡名	池子遺跡群　No.8地点
所在地	逗子市		
遺構名	第1号道路状遺構		
道　幅			
年　代	～昭和初期（「土地法典」1930年刊）		
備　考	伝春日社跡に関連するピット群の東側で確認。第１号旧河道に沿う。		

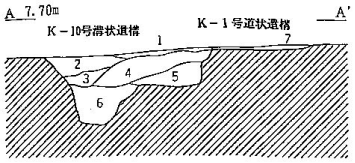




縮　尺	（平面図） 1/350　（断面図） 1/150

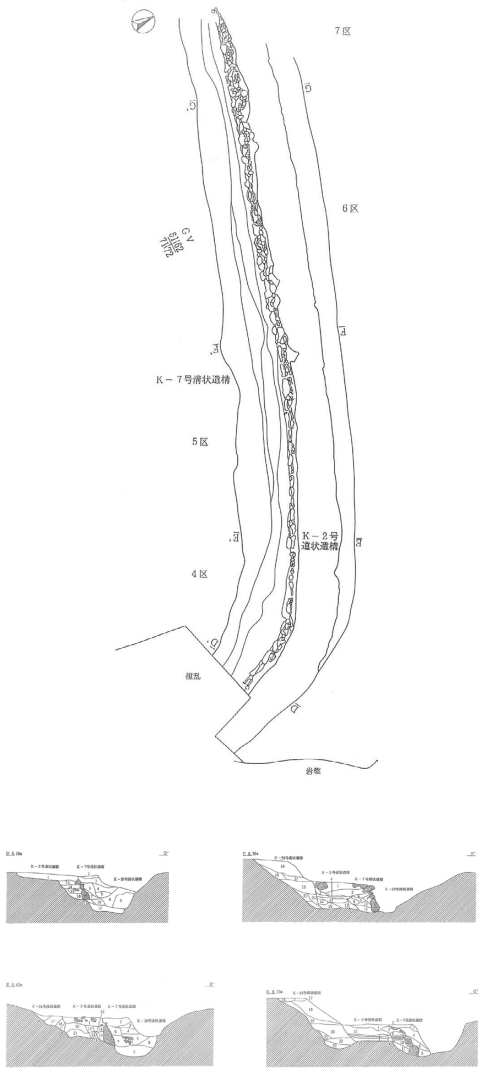
資料No.	88	遺跡名	池子遺跡群　No.5 地点
所在地	逗子市		
遺　名	K-1 号道状遺構		
道　幅			
年　代			
備　考	検出長 16m、層厚 0.1m、K-10 号溝に伴う。南側のみ検出。溝状遺構および道状遺構として同時の機能が想定。		





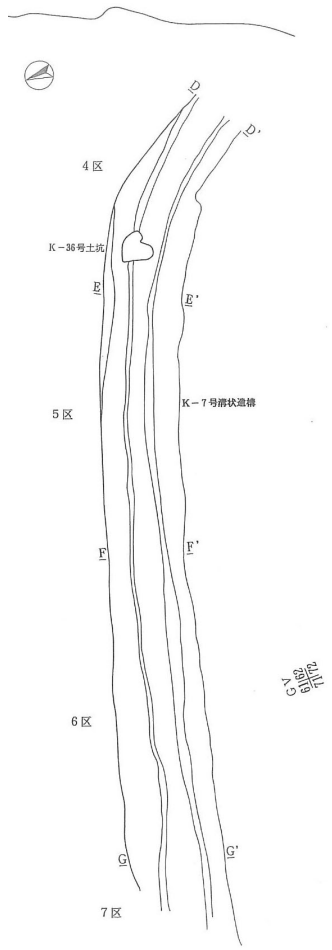
縮　尺	（平面図） 1/150　（断面図） 1/50

資料No.	89	遺跡名	池子遺跡群　No. 19 地点
所在地	逗子市		
遺構名	K-2 号道状遺構		
道　幅			
年　代			
備　考	K-7 号溝状遺構に付属する施設として機能。		



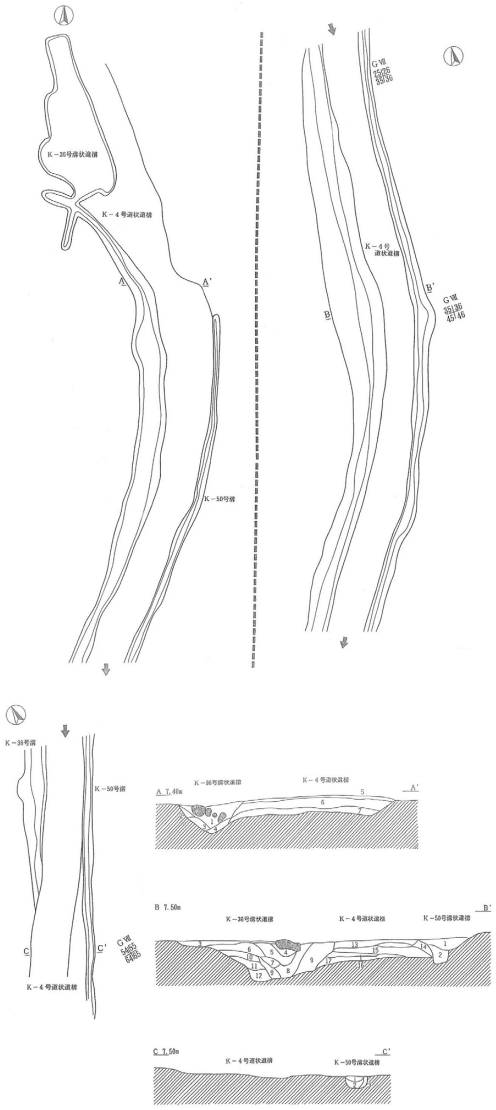
縮　尺	（平面図） 1/250　（断面図） 1/500

資料No.	90	遺跡名	池子遺跡群　No. 19 地点
所在地	逗子市		
遺　名	K-3 号道状遺構		
道　幅			
年　代			
備　考	K-7 号溝状遺構に付属する施設として機能。		



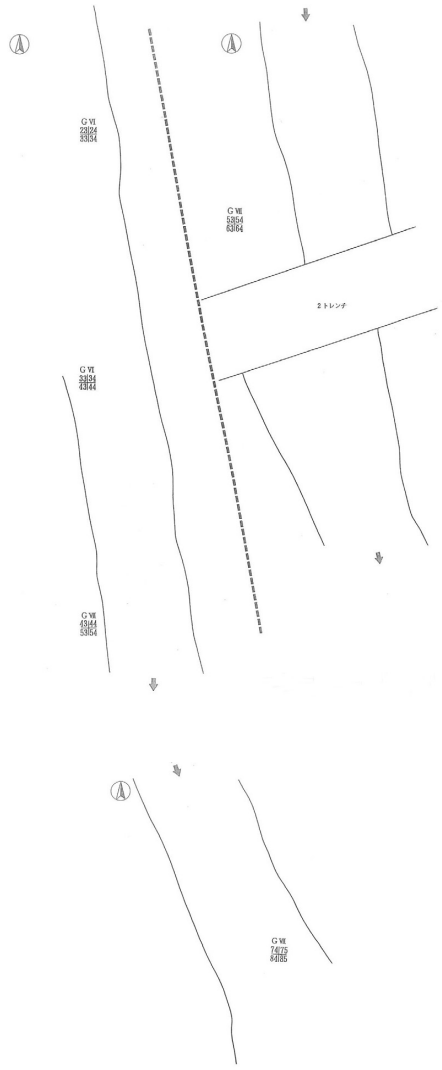
縮　尺	1/200

資料No.	91	遺跡名	池子遺跡群　No.5 地点
所在地	逗子市		
遺構名	K-4 号道状遺構		
道　幅	1.5 ～ 1.6m		
年　代			
備　考	検出長 58m、層厚 0.2 ～ 0.3m。K-36・50 号溝状遺構を西岸および東岸の側溝として付属させ、通路として機能。		



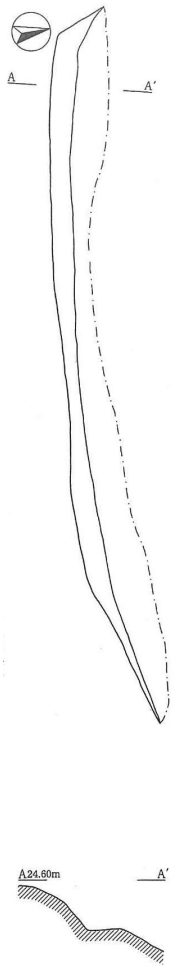
縮　尺	（平面図） 1/300　（断面図） 1/100

資料No.	92	遺跡名	池子遺跡群　No.5 地点
所在地	逗子市		
遺　名	K-5 号道状遺構		
道　幅	4.0 ～ 5.8m		
年　代			
備　考	検出長 57m、ほぼ直線で延びる硬化面として検出。旧海軍接収直後の造成に関わる可能性が高いため、その範囲のみ掲載。		



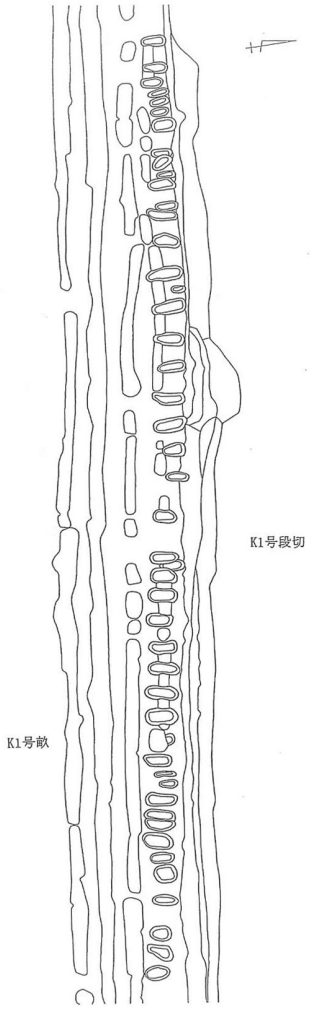
縮　尺	1/300

資料No.	93	遺跡名	池子遺跡群　No.3･4･5 地点
所在地	逗子市		
遺構名	第 1 号道状遺構		
道　幅	0.3 ～ 0.5m		
年　代			
備　考	検出長 9.6m、東西両端とも調査区外に延びている。踏み締めにより部分的に硬化した平場を道と認定。		



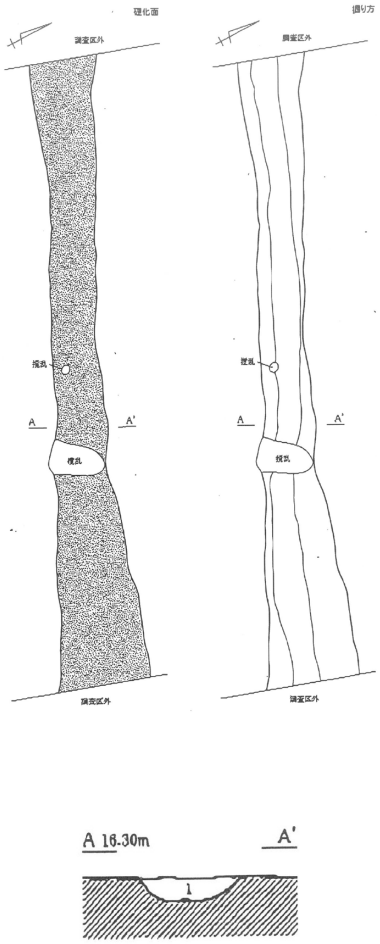
縮　尺	（平面図） 1/100　（断面図） 1/100

資料No.	94	遺跡名	杉久保蓮谷遺跡
所在地	海老名市		
遺　名	K1 号道状遺構		
道　幅	0.8m以上		
年　代			
備　考	検出長 19.3m、硬化面は確認されていないが、底部に走行方向と直交する方向に長軸を採る長楕円形の土坑がある。		



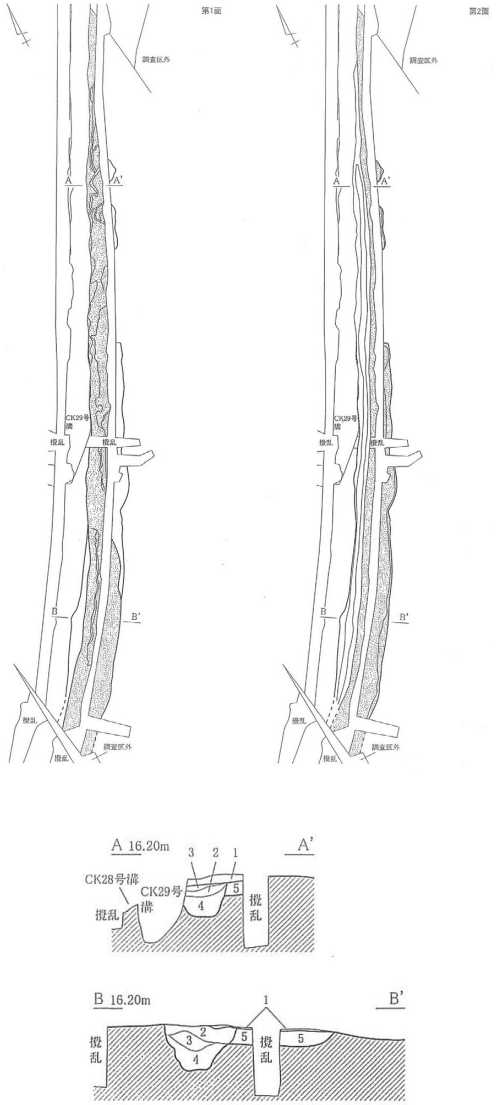
縮　尺	1/120

資料No.	95	遺跡名	社家宇治山遺跡
所在地	海老名市		
遺構名	CK１号道状遺構		
道　幅	1.2 ～ 2.5m		
年　代			
備　考	検出長 17.2m。溝状に掘り込まれた道。		



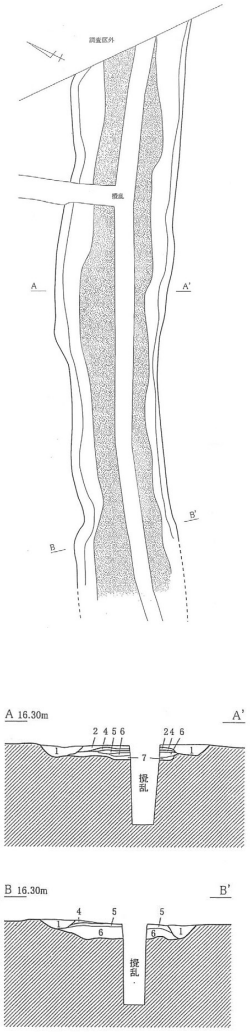
縮　尺	（平面図） 1/200 （断面図） 1/100

資料No.	96	遺跡名	社家宇治山遺跡
所在地	海老名市		
遺　名	CK1 号道状遺構		
道　幅	1.2～2.4m		
年　代	17世紀～18世紀		
備　考	検出長 35.7m。硬化面は２面確認されており２時期に渡って使用されていたと思われる。		



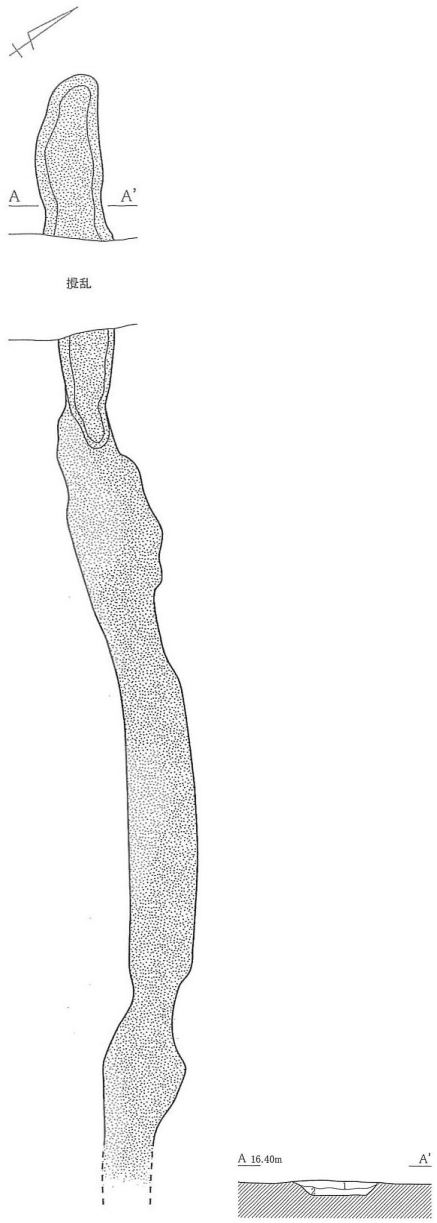
縮　尺	（平面図）1/350 （断面図） 1/100

資料No.	97	遺跡名	社家宇治山遺跡
所在地	海老名市		
遺構名	CK1 号道状遺構		
道 幅	1.8～2.4m		
年 代			
備 考	検出長 12.2m。硬化面の両側は溝状に窪んでおり宝永スコリアを多く含む層が堆積している。		



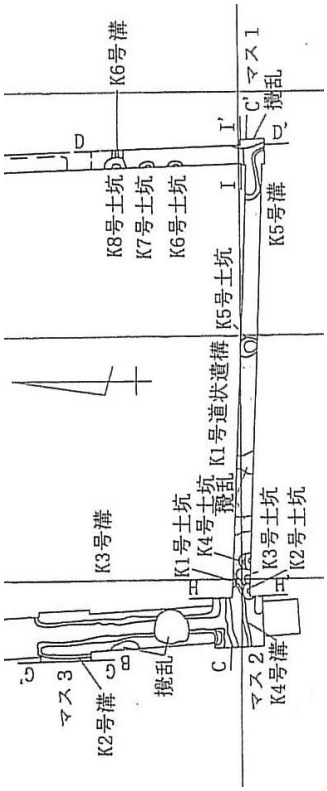
縮 尺	（平面図）1/150 （断面図） 1/100

資料No.	98	遺跡名	社家宇治山遺跡
所在地	海老名市		
遺 名	CK2 号道状遺構		
道 幅	0.4～0.9m		
年 代			
備 考	検出長 11.3m。硬化面は層厚 10cm 前後。東側は CK2 号竪穴状遺構に切られる。		



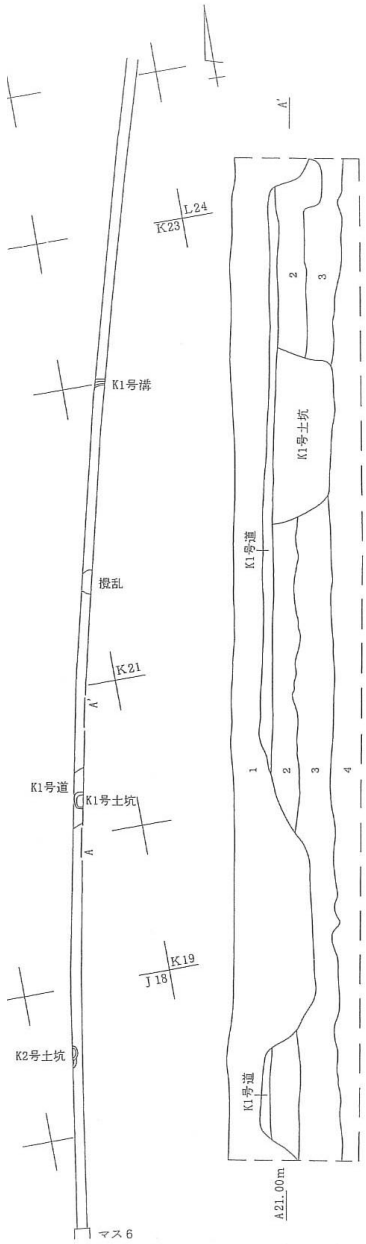
縮 尺	（平面図）1/150 （断面図） 1/100

資料No.	99	遺跡名	河原口坊中遺跡
所在地	海老名市		
遺構名	K1 号道状遺構		
道　幅			
年　代	19 世紀以前（出土品の下限により）		
備　考	硬化面は層厚 30 ㎝の間に３枚または４枚ある。海老名市道が整備される以前の道路の一部と考えられる。		



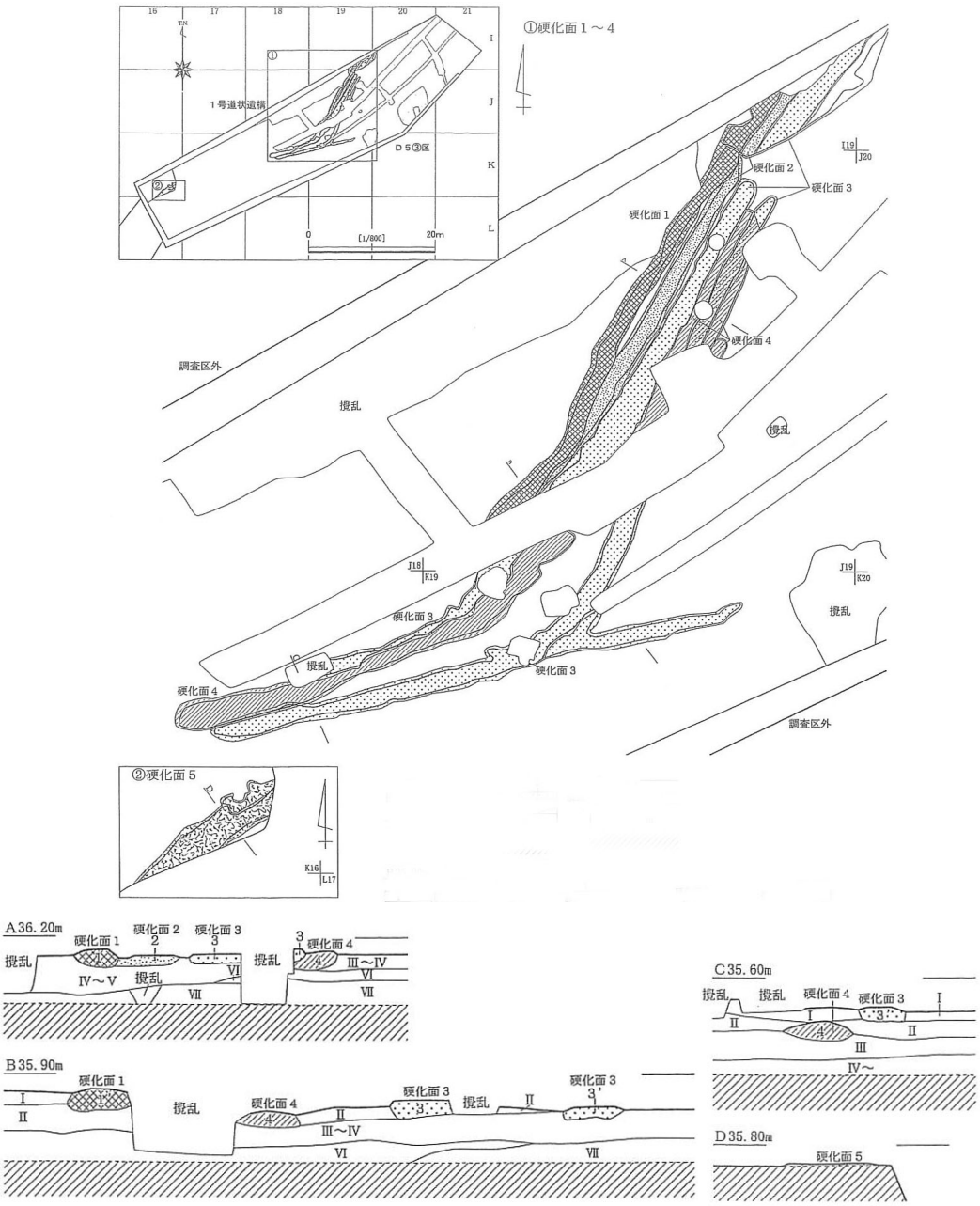
縮　尺　1/300

資料No.	100	遺跡名	河原口坊中遺跡
所在地	海老名市		
遺　名	K1 号道状遺構		
道　幅	約４ｍ		
年　代			
備　考	硬化面は層厚２㎝前後で２～４層重なっている。		



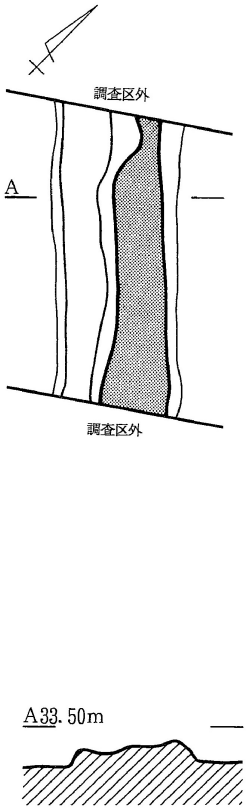
縮　尺　（平面図）1/500　（断面図 ）1/500

資料No.	101	遺跡名	中依知遺跡群
所在地	厚木市		
遺構名	1 号道状遺構		
道 幅	0.5m前後		
年 代	～近世初頭		
備 考	検出長 44m。層厚 10 ～ 15 ㎝の 4 条の硬化面と約 23m離れた位置に続きと思われる層厚 5 ㎝の硬化面が検出。時期差を伴って構築。		



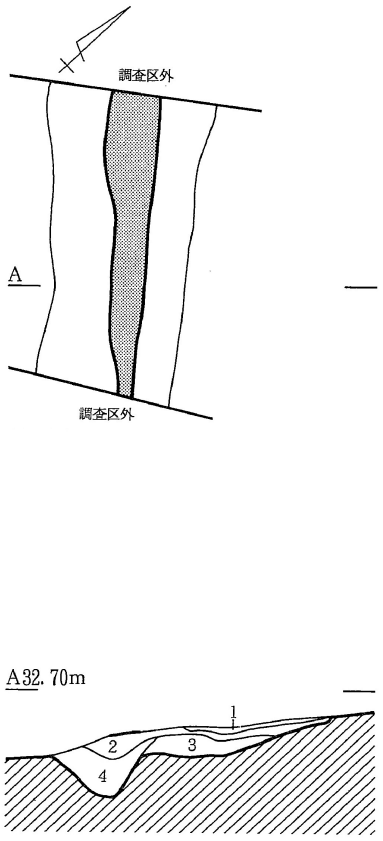
縮 尺	（平面図）1/1100 （断面図） 1/120

資料No.	102	遺跡名	御屋敷添遺跡
所在地	厚木市		
遺構名	第1号道状遺構		
道　幅	0．8ｍ		
年　代			
備　考	検出長 2m。層厚は見られなかったが、中央部に顕著な硬化面が形成。		



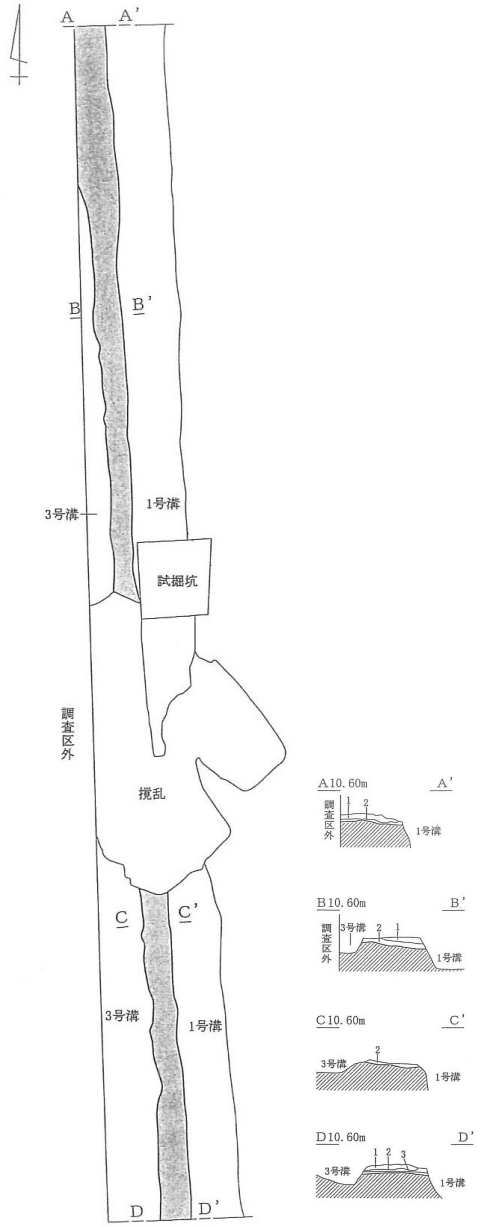
縮　尺	（平面図） 1/50　（断面図） 1/50

資料No.	103	遺跡名	御屋敷添遺跡
所在地	厚木市		
遺　名	第2号道状遺構		
道　幅	1.1m		
年　代			
備　考	検出長 2m。硬化面は層厚 0.4m。堀方の中央部に硬化面を形成。		



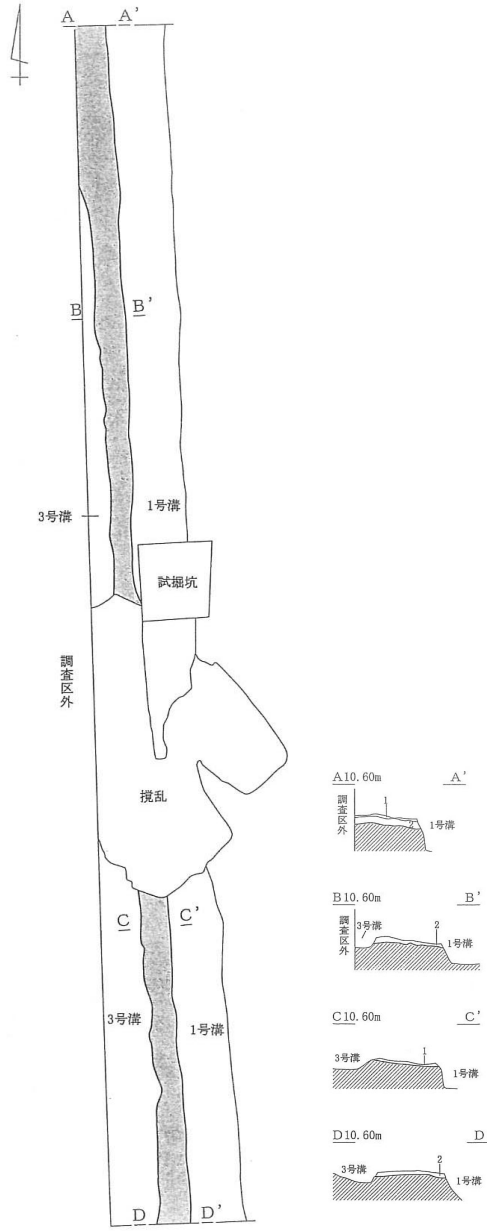
縮　尺	（平面図） 1/50　（断面図） 1/50

資料No.	104	遺跡名	宮山中里遺跡
所在地	高座郡寒川町		
遺構名	1 号道状遺構		
道 幅	1.2m		
年 代	宝永火山灰降灰以前～明治期		
備 考	検出長32.5m。硬化面は層厚最大15㎝の間に3枚ある。		



縮 尺	（平面図）1/200 （断面図） 1/100

資料No.	105	遺跡名	宮山中里遺跡
所在地	高座郡寒川町		
遺 名	2 号道状遺構		
道 幅	1.2m		
年 代	～宝永火山灰降灰期		
備 考	検出長 32.5m。第 1 号道状遺構下位から検出。硬化面は層厚最大 10 ㎝の間に 2 枚。1 号溝状遺構、3 号溝状遺構は側溝の可能性。		



縮 尺	（平面図）1/200 （断面図） 1/100